

背景・趣旨

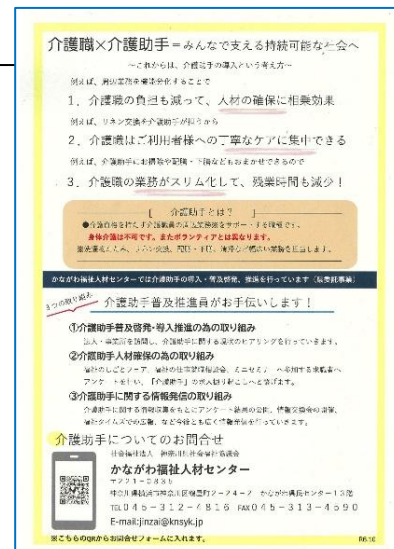
- 少子高齢化、人口減少がすすみ、若年労働力の確保の厳しさが増す中で、福祉・介護分野においては慢性的な人材不足への対策が求められ、「**多様な人材の参入促進**」に基づく施策や取り組みが各地ですすめられています。
- 福祉人材センターでは、福祉・介護の仕事についての正しい理解、魅力・やりがい等を効果的に伝えるために市町村、市町村社協、法人・事業所等の関係機関と連携し、福祉の仕事を知る懇談会等の魅力普及促進事業を展開してきましたが、福祉人材センターの利用者・求職者は中高年層が多い傾向からも、とくに、**セカンドステージ、セカンドキャリア層**の求職者・求人開拓と働く環境の整備、**介護予防や社会貢献を主目的とした方**への支援の具現化が必要とされていると考えています。※かながわ福祉人材センターは令和6年度に「**介護助手普及推進員配置事業**」を県から受託しました。

事業の特徴・内容(社協らしさとセンターの強みを発揮した事業企画)

1. 介護助手導入に関する法人・事業所訪問の実施【実態把握】**【情報発信】①、②**
介護助手を導入している法人・事業所の管理者、採用担当には「導入の経緯」等について、介護助手には「動機」や「仕事の魅力」等について**介護助手普及推進員**がヒアリングを行い、**Instagram**等で**情報発信**を行っています。
2. 「介護助手に関するアンケート調査」の実施(令和6年12月末現在、234名が回答)**【実態把握】**
就職支援ガイダンス等の機会において、介護助手に関する求職者の意識調査を実施した結果、「**介護助手に興味・関心がある**」は「**71%**」にのびりました。
3. セカンドキャリア、セカンドステージ層へのアプローチ**【情報発信】③、④**
「介護に関する入門的研修」での情報提供や介護助手の仕事のいろいろ、特徴などを紹介したリーフレットを配付しています。



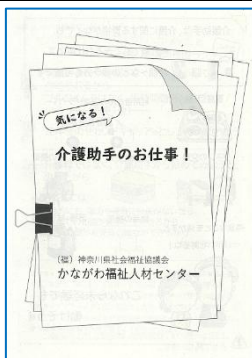
①シリーズ「介護助手のお仕事」



②法人・事業所向けの導入・啓発



介護助手普及推進員です！



③「介護に関する入門的研修」でガイダンスを実施

④求職者向けの啓発リーフレット

おもな効果

法人・事業所訪問（ヒアリング）等から、介護助手の主体的で柔軟な働き方、高い就労意欲、介護職とのコンベーションなど、介護助手の仕事の広がりが見え、また、法人・事業所による介護助手導入・準備等は人材確保・定着・育成の一環で行われていることがわかりました。こうしたことから、さらに介護助手に関する啓発や情報提供・発信を強化する必要があると考えられます。

メッセージ

介護の仕事に魅力を感じても「自分には無理」「自信がない」と、介護職になることを諦めてしまう人がいます。福祉人材センターでは個々の求職者の考え、働き方等に寄り添い、一人ひとりに合わせたサポートを行っています。